

環境厚生常任委員長報告

(H 2 7 . 1 2 . 1 8)

環境厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第1号議案、平成27年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

総務費では、過年度国・府支出金の精算に係る返納金の増額補正。

民生費では、障害者福祉サービス事業経費や、私立保育園保育委託経費、法内扶助費などの増加に伴う増額補正、であります。

また債務負担行為については、個人番号カードの交付に係る業務の委託経費、公の施設の管理に係る経費、塵芥処理事務経費及び塵芥処理施設管理業務委託経費について設定されております。

賛成討論の後、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、可決にあたり、報酬をはじめとした待遇改善等による保育士の確保や、できる限りの取り組みの工夫を行い、児童の入所待ちの現状が改善されるよう努めることを指摘要望するものです。

次に、第2号議案、平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算については、人事異動等に伴う職員人件費等について増額補正するものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第7号議案、平成27年度病院事業会計補正予算については、給食業務等の経費に係る債務負担行為について、予算に定めるものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、

第 1 8 号議案 亀岡市総合福祉センターに係る指定管理者の指定、

第 1 9 号議案 亀岡市曾我部いこいの家に係る指定管理者の指定、

第 2 0 号議案 亀岡市畑野健康ふれあいセンターに係る指定管理者の指定、

以上の 3 議案については、それぞれの公の施設の管理に関し、指定管理者を指定しようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告とします。

大幅補正の理由や、市の実質負担額は

になったほか、放課後等デイサービス事業所

国・府の補助金などを除くと、市の実質の負担額は、どのくらいになるのか。

が新たに3カ所開設し、受け入れ体制が充

答約1億2千万円である。

実したことにより需要が増えている。

扶助費：社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して行う支援に要する経費。

問 扶助費（ ）が大幅に増加しているが、

保育所に入れられない子どもがいる状況の改善を

民生費の補正の主な内容	増加額
障害者福祉サービス事業経費	3億1656万円
私立保育園保育委託経費	1億6549万円
法内扶助費(生活保護扶助費)	6544万円
老人医療助成経費	2934万円
こども医療費助成経費	2521万円
福祉医療経費	1549万円

【主な質疑】

問 議員 答 担当部長

問 障害者福祉サービス事業経費の増加理由は。

育土が必要であり、保育士の確保が難しい。

【指摘要望事項】

答 グループホームの新規開設や就労継続支援事業、就労移行支援事業、計画相談に関する経費が増加している。

待遇改善を含め、保育士の確保に力を入れる必要がある。

財源は厳しいが、子育て家庭を応援する意味でも、保育士の待遇改善が必要。

また、発達支援サービス事業所の受け入れ定員が26年度から2倍

年度途中で保育所に入れられない子どもがいるが、その多くは0歳児

の保育には多くの保育士が必要である。

【会場でお答えできなかったご意見・要望などの回答】

意見・要望などの概要（東本梅 6）

決算について、民生費には医療費も入っているのか。

ご意見への回答

一般会計の民生費に含まれる医療費としては、主に障害者医療・こども医療・老人医療・生活保護の医療扶助・後期高齢者医療負担金などがありますが、御質問の趣旨である運動による疾病予防と関連する項目は、主に老人医療、後期高齢者医療負担金となります。老人医療は平成26年度決算で1億6673万円、後期高齢者医療負担金は7億3045万円となります。

なお、国民健康保険事業も医療費が関連してきますが、こちらは特別会計での決算となりますので、一般会計の民生費の支出の中には、医療費としては含まれておりません。